

■メタノールバンカリングの弊社取り組みについて

- ・メタノール二元燃料大型ばら積み貨物船の建造に関するMOUを国内造船所と締結。2027年以降に複数隻のメタノール焚き本船の運航を開始する予定。
- ・メタノールバンカリング候補地は日本、シンガポール、中国等。日本でのバンカリングに関しては、供給事業者様とバンカリング時の課題を確認しつつ、メタノールの供給体制の構築と供給契約について協議中。

■メタノールバンカリングの実施上の課題について

- ①一回あたり2,000-3,000 MT程度のバンカリングを想定しており、既存ケミカルタンカーの活用の場合、1隻あたり1,000 MT程度が上限となるので、本船の荷役着岸中の全量補油が難しい可能性がある。
- ②岸壁着岸中の全量補油が叶わなかった場合、不足分については、離岸後の錨地でのバンカリングが有力な選択肢になるが、対応可否が不透明であること。
- ③ばら積み貨物船の運航上の性質から、日本の中でも寄港地(バンカリング地域)の候補が多岐に渡るため、上記①と②を全国の港で解決する必要があること。

